

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

社会(地理・地図)



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会 (地理的分野)	2	東書	新編 新しい社会 地理

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○各単元が、導入で単元を貫く探究課題で見通しをもたせ、つかむ、追究する、解決するの3段階で構成される課題解決的な学習に重点を置いた構成になっている。 ○世界の諸地域学習の導入で共通する6つの視点で州を概観する「世界の窓」を、日本の諸地域学習の導入で「○○の視点で見よう」を設け、地域的特色を概観し、探究的な地誌学習に取り組めるように工夫している。 ○学習した内容が、「もっと知りたい」「未来にアクセス」を通してさらに学びが広がり、深まるように工夫されている。
	3 分量	○全体の分量は年間の総時数からみて適切である。各単元に導入の活動とまとめの活動を充当しており、適切な配当である。
	4 使用上の便宜	○「みんなでチャレンジ」では、個人やグループによる対話的な活動を通して学びが深められるよう意図されている。 ○多様なQRコンテンツが用意されており、関連する紙面や動画コンテンツなどを視聴することもでき、ほぼ毎時間の授業で使える。 ○単元末の「まとめの活動」では、多様な思考ツールを用いて考えが整理できる。
	5 印刷・製本等	○不要な陰影や立体感を省いた「フラットデザイン」や「UDフォント」が採用されており、特別支援教育の視点で配慮されている。 ○QRコンテンツへの移行等により、総重量の軽量化を図っている。(約2.4%)
教科ごとの選定の観点	(共通) 1 単元末の「まとめの活動」では、多様な思考ツールを使いながら「見方・考え方」を働かせて課題に取り組めるようになっている。 2 「スキルアップコーナー」や「資料を活用する力をきたえよう」を通して、地理の学習に必要な技能や資料を読み取る力の定着を図っている。 3 「みんなでチャレンジ」では、個人活動→グループ活動の流れで構成されており、多様な意見にふれながら学習が進められるようになっている。 4 世界や日本各地の中学生が語るコラム「聞かせて！中学生」では、地域についてより身近に感じ、興味・関心が持てるよう工夫されている。 5 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容が提示されており、小・中の接続が円滑にできるように工夫している。 (地理的分野) 1 (1)「スキルアップコーナー」を設け、学習に必要な地理的技能を習得できるようにしている。 (2)「地理を学ぶ5つのミカタ」で地理学習の重要な視点を示し、単元末の「地球的課題を振り返ろう」では学習した内容や資料等をもとに考えをまとめられるようになっている。 (3)世界や日本の諸地域学習の各州・各地方の導入部にコラム「聞かせて！中学生」を設け、諸地域の多様な生活・文化への理解を促し、尊重する態度を養えるようにしている。 2 日本の諸地域学習では、それぞれの地域で5つの中核となる考察の仕方から1つ選択されており、全体で全ての考察の仕方を網羅している。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会 (地理的分野)	17	教出	中学社会 地理 地域にまなぶ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適応している。
	2 内容に関する配慮事項	○各単元が、学習を見通す学習課題を中心に、学習内容の確認、振り返り、活用の3つの段階で構成されている。 ○世界や日本の諸地域の学習では、写真資料を中心に構成された見開きページになっており、節全体を概観できるようになっている。 ○単元末の「学習のまとめと表現」の中で、学習したことを活用しながらグループで解決を図る課題が設定されている。
	3 分量	○全体の分量は授業時数から見て適切であり、世界と日本の地誌学習に重点を置き、各単元の取扱について、授業の弾力的な運用に配慮されている。
	4 使用上の便宜	○各編の初めに学習する内容や関連する資料が示されており、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。 ○学びを助ける三本の柱「LOOK」「THINK」「TRY!」を手がかりに、資料を丁寧に読み解きながら考察することで、資料を活用してまとめる力の育成を図っている。 ○ウェブサイトとリンクさせ、学習に役立つ情報を得ることができるよう「まなびリンク」を設けている。
	5 印刷・製本等	○配色やレイアウトなどUDへの配慮がされている。本文と資料の区別が明確になるよう工夫されている。 ○印刷は鮮明で、材質・インク等環境への負荷軽減に配慮されており、各ページが開きやすい綴じ方になっている。
教科ごとの選定の観点	(共通) 1 コラム「地理の窓」を通して、本文について学びを深め、多面的・多角的な見方が身につけられるよう工夫されている。 2 「地理の技」が設けられ、地図やグラフの扱いなどの技能を、系統的に身につけられるようになっている。 3 追究の視点や学習課題と対応させた「学習のまとめと表現」では、地理的事象や課題に関わる説明や話し合いなど表現活動ができるように工夫している。 4 第3編第3章「日本の諸地域」の「現代に生きる地域文化」などを通じて、伝統と文化を尊重し、それを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしている。 5 巻頭には小学校社会とのつながりが掲載され、見開きには関連する他分野等について明示している。 (地理的分野) 1 (1)「地理の技」を通して、地理学習に必要な技能を習得できるように工夫されている。 (2) 日本や世界の問題を取り上げた「地理の窓」では、事象について多面的・多角的な見方が身につけられるよう工夫されている。 (3)「クロスロード」のページの最後の「TRY!」では、よりよい社会にするために考えを深め、解決にむけて考えられるよう工夫されている。 2 日本の諸地域学習では、それぞれの地域で5つの中核となる考察の仕方から1つ選択されており、全体で全ての考察の仕方を網羅している。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会 (地理的分野)	46	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○巻頭ページに「教科書を活用した学び方」等を設け、章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に単元を貫く問いを設けており、学習の見通しをもって自主的・自発的な学習ができるようになっている。 ○「アクティブ地理」では、課題について3つのステップで考えを深め、他者と意見を交わしながら解決を図るようになっている。 ○冒頭に「序説」を設け、追究する視点(主題)と地球的課題・地域の課題を写真やイラストを用いながらわかりやすく端的に提示している。
	3 分量	○全体の分量は年間の総時数からみて適切であり、1見開き1単位時間の授業が想定され、学習課題も明確に設定されている。
	4 使用上の便宜	○巻頭で「地理的な見方・考え方」を5つの視点で説明し、単元の振り返りや課題に取り組む過程で、「見方・考え方アイコン」を示して考察できるようになっている。 ○世界や日本の諸地域学習の導入では、生徒の興味関心を喚起する「写真で眺める」やイラスト、地図を配置し、地域の姿や特色を捉えやすいよう工夫している。 ○多様なQRコンテンツが随所に準備されているため利便性があり、個別最適な学びが行えるよう配慮されている。
	5 印刷・製本等	○UD フォントやカラーユニバーサルデザインが取り入れられ、特別支援教育の視点から配慮されている。 ○堅牢な用紙を使用しており、重量が軽いPUR製本である。文字や資料・写真等の印刷も鮮明で、見やすい。
教科ごとの選定の観点	(共通) 1 単元末の「学習を振り返ろう」では、各単元における見方・考え方が明示され、思考ツールを活用しながら振り返りができるよう工夫されている。 2 「技能をみがく」コーナーを随所に設けて、写真や地図、グラフを読み取る地理的技能を着実に習得できるようにしている。 3 「未来に向けて」のコラムでは3分野をまたぐ学習の提案や多面的・多角的な見方・考え方など、より学びを深められるように工夫している。 4 地誌を扱う、第2部第2章「世界の諸地域」第3部第3章「日本の諸地域」の内容を充実させており、国土理解・異文化理解を促進する配慮をしている。 5 各見開きに、関連する小学校社会科や各教科等の内容が明示されており、振り返りができるようになっている。 (地理的分野) 1 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に「技能をみがく」コーナーを設け、地理的技能を身につけられるようになっている。 (2) 地域の課題を考える「アクティブ地理」を新設し、対話を通して自分の意見をまとめたり、他者と意見交換したりして考えを深められるようにしている。 (3) 「未来に向けて」では、地域の課題を分析し、よりよい未来を構想することで課題を自分事として捉え、主体的に社会に参画する態度の育成を図っている。 2 日本の諸地域学習では、それぞれの地域で5つの中核となる考察の仕方から1つ選択されており、全体で全ての考察の仕方を網羅している。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会 (地理的分野)	116	日文	中学社会 地理的分野

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適切している。
	2 内容に関する配慮事項	○各単元の導入で単元を貫く問いを示し、追究、まとめ・振り返りの3つの段階で構成されている。 ○世界と日本の諸地域の学習では、主題や考察の仕方に関わる写真を大きく掲載して地域の概要を大観させ、単元の問いを立て学習を見通すための導入ページを設定している。 ○1時間の授業を見開き2ページとし、「学習課題」と課題解決の手がかりとなる「見方・考え方」の例が示されている。また、単元末では思考ツールの提案やポートフォリオによる振り返りなど生徒の自主的・自発的な学習を促している。
	3 分量	○全体の分量は年間の総時数からみて適切であり、各章各単元の紙面は学習内容の構造化と焦点化が図られており、分量もバランスよく配分されている。
	4 使用上の便宜	○多様なQRコンテンツが用意されており、「地理+α」のコラムと併せて、地域や社会の地理的な話題について生徒の興味・関心を高められるよう配慮されている。 ○各単元のはじめで、単元で学習することの見通しがもてるよう工夫されている。 ○各見開きに学習内容を深めるための作業学習「トライ」コーナーが設けられている。
	5 印刷・製本等	○内容は鮮明で読み取りやすく、UDフォントやカラーバリアフリーが採用され、見やすいよう配慮されている。 ○良質で軽い紙を使用して教科書の軽量化に努めており、開きやすく閉じにくい仕様で十分な強度がある。
教科ごとの選定の観点	(共通) 1 巻頭に地理的な見方・考え方が、各見開きページに関連する見方・考え方が示されており、常に意識できるよう工夫されている。 2 「スキルUP」のコーナーが随所に設けられており、地理学習に必要な技能を6つに整理し、系統的に習得できるようになっている。 3 持続可能な社会に関連する内容を配し、様々な観点から考えることができる教材を提示している。「議論してみよう」のコーナーでは、課題に対してグループで議論する活動を通して、多面的・多角的に理解を深めるようになっている。 4 我が国における伝統・文化の現状と、それを守り未来に継承していく人々の思いや取組について、随所に写真やコラム(地理+α)などを掲載している。 5 小学校社会科の振り返りや歴史・公民的分野とのつながりを示す連携コーナーが設けられている。 (地理的分野) 1 (1)「スキルUP」のコーナーが設けられており、地理学習に必要な技能の定着を図っている。 (2)各単元末「自分の考えをまとめよう」のコーナーでは、多様な思考ツールを用いて主体的・対話的な活動ができるようになっている。 (3)世界各地の人々の生活を紹介する「声」のコーナーを設け、多様性や多文化共生社会の重要性を認識できるように工夫している。 2 日本の諸地域学習では、それぞれの地域で5つの中核となる考察の仕方から1つ選択されており、全体で全ての考察の仕方を網羅している。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	2	東書	新編 新しい社会 地図

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は、学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は、各学年の生徒の発達段階に適応している。
	2 内容に関する配慮事項	○世界の一般図は、陸地だけでなく、海洋にも着目した地図を掲載することで、地球全体の姿を的確に捉えられるようにしている。 ○世界の各州や日本の諸地方で取り上げた地図や資料は、課題追究の学習活動の流れに沿って選定され、生徒にとって資料の関連性が読み取りやすい。 ○「地図帳活用コーナー」が随所に設けられており、地図帳の資料活用能力や思考力、主体的に学ぶ意欲を高められるように工夫されている。 ○SDGs との関連が問いとして掲載され、現代社会の諸課題について主体的に解決に取り組めるよう工夫されている。
	3 分量	○社会科の課題解決的な学習を深められるように、地図をはじめ、グラフ・写真などの資料をバランスよく掲載し、アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州などについては、より多くの資料を取り上げている。
	4 使用上の便宜	○主題図には「歴」「公」「SDGs」の記号が付されたものもあり、歴史的分野や公民的分野での学習にも関連づけて活用しやすくなっている。 ○関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて見ることを促し、学習に広がりをもたせられるように工夫している。 ○世界・日本のページの右端に州名や地方名を記したインデックスが設けられ、生徒が探しやすいよう配慮されている。 ○学びを追究できる資料として、多様な QR コンテンツが用意されている。
	5 印刷・製本等	○UD フォントやフラットデザイン等を取り入れ、全ての生徒の色覚特性に適応したデザインになっている。 ○造本は堅牢で、QR コンテンツへの移行等により軽量化に努めている。(16p削減)
教科ごとの選定の観点	1 資料の読み取りのポイントや見方・考え方の視点(考察の視点)を問いで示した「Bee's eye」が各ページに設けられ、資料の理解を促し、考察を深められる工夫がされている。 2 世界の各州や日本の各地方では、気候、世界各地の人々の生活や文化、産業についての主題図のページを設け、基礎基本的な知識を確実に習得できるよう工夫されている。 3 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業との結びつきなど、探究課題に沿った学習に活用できる資料を取り上げ、課題解決的な学習への主体的な取組をサポートし、理解を深められるよう工夫している。 4 世界各州の一般図には、各国の国旗が掲載され、国旗の意義を理解し、尊重する態度を育成できるように工夫されている。 5 資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示されている。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	46	帝国	中学校社会科地図

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は、学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は、各学年の生徒の発達段階に適応している。
	2 内容に関する配慮事項	○世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選定されている。 ○視覚的に捉えやすい鳥瞰表現を多用し、内容が焦点化されている。 ○地理分野の学習内容と関連した問い「地図で発見」が見開きページごとに設けられており、地図を見る視点が明確化されている。 ○多目的に活用できるよう、他分野や他教科、修学旅行等との関連が明示されている。
	3 分量	○世界の諸地域学習における主題及び地球的課題、日本の諸地域学習における地方ごとの考察の仕方（地方ごとの中核となる事象）について、授業の実態に応じた学習に対応できるように、また、地域の特色が偏らずに理解できるように、多角的に地図・資料が選定されている。
	4 使用上の便宜	○地図帳の構成、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が、巻頭の「地図帳の使い方」のページに解説されている。 ○主題図には「歴」「公」「SDGs」の記号が付されたものもあり、歴史や公民の学習とも関連付けて活用しやすくなっている。 ○世界・日本のページの右端に、州名や地方名を記したインデックスが設けられ、生徒が探しやすいうように配慮されている。 ○個別最適な学びに対応した、多様なQRコンテンツが用意されている。
	5 印刷・製本等	○印刷は鮮明で、UDフォントやカラーユニバーサルデザイン等を取り入れ、目にやさしく、見やすい色表現になっている。 ○製本は堅牢で、3年間の使用に耐えうる丈夫な製本仕様である。
教科ごとの選定の観点	1 地図帳で培うべき地理的な見方・考え方を育成する問い「地図で発見」が資料図や一般図の随所に設けられており、生徒が主体的に取り組み、地図を読み取る力を身に付けられるように工夫している。 2 世界の諸地域の多様性や地域的特色を、自然、産業、生活・文化に関する資料や統計などを用いて州ごとに大観できる内容になっている。 3 日本の諸地域の自然環境、人口、資源、エネルギーと産業の地域間の結びつきの地域的特色を、鳥瞰図や統計、資料などを用いて地方ごとに大観したり、比較を通して変化や因果関係を考察したりできる内容になっている。 4 多文化共生の視点から、全ての国の国旗を掲載し、国旗への関心を高められるように工夫している。 5 資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示されている。	